

## 第3回水稻病害虫発生状況の調査結果について

兵庫県農業共済組合佐用事務所  
JA 兵庫西佐用営農生活センター  
光都農業改良普及センター  
令和6年7月26日

### 1 水稻の生育状況

6月下旬から7月中旬にかけての平均気温は平年より高くなりました。気象庁の速報値より7月21日に梅雨明けとなり、降水量の平均は平年並となったものの集中的な降雨がありました。日照時間は6月下旬は平年以下でしたが7月上旬は平年以上、7月中旬は平年並となりました。

### 2 調査結果（調査日7月25日）

| 病害虫名     | 調査結果の概要                           |
|----------|-----------------------------------|
| いもち病     | 一部のほ場で発生がありました。                   |
| 紋枯病      | 調査ほ場では、発生が確認されませんでした。             |
| ウンカ類     | ほぼすべての圃場で発生がありました。                |
| ツマグロヨコバイ | 一部のほ場で発生がありました。                   |
| カメムシ類    | 班点米カメムシ、イネカメムシが多く、一部のほ場で発生がありました。 |

### 3 これからの管理について

- ① 今回の調査では斑点米カメムシ、イネカメムシともに多くのほ場で確認されました。県下でも斑点米カメムシ類の発生がやや多の予想となっています。出穂後はカメムシ防除を行いましょう。畦畔・雑草地の除草は、出穂2週間前までに実施し、出穂間近の畦畔除草は、圃場内へのカメムシ類の移動を促進するので避けて下さい。また、圃場内のヒエは早めに抜き取りましょう。
- ② 令和6年度病害虫発生予報 第3号（7月12日発表）では、セジロウンカ、トビイロウンカの発生がやや多い予想です。また、令和6年度病害虫発生予察防除情報 第6号（7月19日発表）では、予察灯において例年に比べて早いトビイロウンカおよびセジロウンカの誘殺が確認されています。向こう1か月は気温が高くなることが予想されており、ウンカ類の増殖に好適な条件が続くことから、今後の発生について十分注意してください。
- ③ 6月下旬以降では7月1日がいもち病発生の好適日、7月14日、15日がいもち病発生の準好適日となりました。今回の調査では一部のほ場で発生が見られました。すでに葉いもちが発生している圃場では、穂いもちの予防のために、出穂前防除を行いましょう。
- ④ 乳白米や登熟不良による品質低下を防ぐため、出穂後4週間（少なくとも3週間）は間断灌水による水管理を行いましょう。根の活力維持のため、極端な圃場の乾燥や水の溜めっぱなしに注意して下さい。